

翔

百万石蝶談会 No 156

June 2002

我が家の庭でツマグロヒョウモンの越冬幼虫を観察

奥 素 八 子

ツマグロヒョウモンの越冬幼虫を庭で発見しました。石川県で、ツマグロヒョウモンが越冬しているのは確かだと思われていますが、越冬幼虫はまだ発見されていなかったと思います。

2001年から2002年にかけての冬は、暖冬傾向で3月には早くも暖かい日が続き、3月12日にプランターのスマレで15mm位の幼虫を観察しました。太陽の光で体を暖めているのでしょうか、スマレの葉の上でじっとしていました。暖冬だったとはいえ、プランターにも雪が積もったり、凍てついた事もあったので、人知れず生き残っていた幼虫を見て、良く耐え忍んでいたものだと、生命力の強さに感動しました。

他にもいないかと探すと、同じプランターから10~20mm位の幼虫が5頭見つかりましたので、地植のスマレなど庭中探してみましたが、他には見つかりませんでした。このプランターは南側に置いてあったもので、プランターのスマレは、冬の間も枯れずに青々とした状態でした。食痕は、見かけなかったように思います。まるで成長を止めて休眠し、スマレの根本にうずくまって春を待っているように感じました。

見つけた幼虫は、パンジーの鉢に移し、サンルームに入れて観察することにしました。寒い戸外で我慢していたせいか、成長が遅くて弱々しく、蛹まで育ったのは2頭だけで、残りは死んだり行方不明になったりしました。4月23日に1♂が、4月28日には1♀が羽化し、庭に放したところ、元気にどこかへ飛んで行きました。

2002年 3月12日 石川県小松市八里台 5幼(10~20mm) 奥 素八子

《おく すやこ 〒923-0056 小松市八里台1 2-3》

柳田村でスジボソヤマキチョウを目撃

三 上 秀 彦

近年、能登地方でのスジボソヤマキチョウの記録が途絶えているが、筆者は柳田村で下記のように成虫を確認しているので、記録にとどめておきたい。

2002年 3月13日 石川県鳳至郡柳田村上町 1♂目撃 三上秀彦

2002年 3月13日 石川県鳳至郡柳田村久田 1♂1♀目撃 三上秀彦

間近で目撃した確実な3個体のみを記録したが、久田では、上記の他にも明らかに本種と思われる個体を3頭目撃している。

《みかみ ひでひこ 〒920-0264 内灘町北部土地区画2 7-9》

石川県北部のギフチョウ発生地

久 慈 一 英

金沢市ではギフチョウ発生地の北限に近い金沢市宮野のカンアオイ群落を調査してきたので報告する。金沢市の北部にあたる北陸自動車道周辺はギフチョウの発生地が乏しく、松井正人氏から情報を得ていた場所である。現地は急斜面に廃畑などあり、上部はスギ植林地となっている。小さな谷となっていて、わずかに水が流れている。狭いながら連続してカンアオイが見られるが、基本的にササや木があって環境は暗い。1999年に行ったときにはギフチョウの卵は見なかったが、今年は、30分ほどで下部から上部にかけて5卵塊以上確認できた。松井氏も、卵はときどき観察しているが、成虫は見たことがないという。特に上部の植林地が間伐されており、成虫も見られそうな気がした。調査を継続したい。

2002年4月27日 石川県金沢市宮野 ギフチョウ5卵塊以上観察、内2卵塊採集

2002年5月3日 自宅で2卵塊すべて孵化

《 参考文献 》

松井正人(1997) 石川県最北のギフチョウ. 翔(125):1.

《くじ いちえい 〒920-1161 金沢市鈴見台3-1-3》

松任市矢頃島にギフチョウ飛来

牧 原 悟 郎

3月10日に、辰口町和気小学校の先生から、飼育中のギフチョウが羽化したと電話をいただいた。あわてて自宅の飼育ケースをのぞき込んだところ、3、4日前に羽化したであろう1頭がうごめいていた。羽化させるにはまだ早いと思い、3月11日には残りの蛹を冷蔵庫に入れ、再冬眠させることにした。

3月16日には、矢頃島の娘宅の庭にギフチョウが飛来し採集したとのことで、行ってみると大型の新鮮な♀だった。3月26日にも1♀が飛来し採集している。矢頃島は水田地帯にあり、おそらくは鶴来町の間からか、手取川を隔てた辰口町の山から強風によって吹き飛ばされてきたものと思われるが、いずれも直線距離で3km以上はある。

ギフチョウ 2002年3月16日 石川県松任市矢頃島 1♀ 村田ゆつ子

ギフチョウ 2002年3月26日 石川県松任市矢頃島 1♀ 村田ゆつ子

《まきはら ごろう 〒924-0386 松任市山島台3-4-4》

輪島市におけるミヤマチャバネセセリとオオチャバネセセリの最近の動向

日吉芳朗・日吉南賀子

石川県輪島市におけるミヤマチャバネセセリとオオチャバネセセリの記録は、松井正人（1998）の中にみあたらない。また、当地における蝶の最も古い記録の一つとされている浅見行一・的場和雄（1952）にも、ミヤマチャバネセセリは記されていない。

◆ミヤマチャバネセセリ

記録としてあらわれた最初のもは、天野勝広（1997）にあり、1996年、気勝山、高洲山、深見町で採集された3♂1♀である。翌年、松井正人氏は三井町与呂見坂田で1頭を目撃、鉢伏山で1幼を採集された（私信による）。筆者も同年、鉢伏山で1♀を得たが、その後、姿をみることがなかった。ところが2001年、市内のあちこちに散見されたことから、これまでにない数が発生した可能性がある。

1997年9月21日	輪島市鉢伏山	1♀	日吉芳朗
2001年4月26日	輪島市大野矢向	2♂	日吉南賀子
2001年4月28日	輪島市大野矢向	1♂1♀1頭目撃	日吉芳朗
2001年5月12日	輪島市上黒川	1♀1頭目撃	日吉南賀子
2001年5月16日	輪島市三蛇山	1♂	日吉南賀子
2001年7月31日	輪島市鉢伏山	1♀	日吉芳朗
2001年9月2日	輪島市深見明前	1♀	日吉南賀子

◆オオチャバネセセリ

浅見行一・的場和雄（1952）には、7月から9月にかけて、記録された地として高洲山、気勝山、輪島町、鶴巣村、河原田村、大屋村（旧村町名はいずれも現在の輪島市）があげられており、当時、かなり広い範囲に生息していたことがうかがえる。実際、筆者の手元にも、1954年に採集された2頭が残っている。ところがその後、目に止まるものがほとんどなくなり、1984年の採集を最後に現在にいたっている。そのため筆者は、気になる種の1つに数えている。

1954年7月11日	輪島市河井一本松公園	1♀	日吉芳朗
1954年7月16日	輪島市河井一本松公園	1♀	日吉芳朗
1962年8月23日	輪島市高洲山	1♀	日吉芳朗
1984年8月15日	輪島市高洲山	1♂	日吉治朗
1984年8月26日	輪島市高洲山	1♂1♀	日吉宏朗・日吉芳朗
1984年9月16日	輪島市久手川大平	1♀	日吉芳朗

《参考文献》

浅見行一・的場和雄（1952）石川県旧鳳至郡の蝶類について：4．輪島高等学校。

松井正人（1998）蝶類．石川県の昆虫：343-344．石川県。

天野勝広（1997）輪島のセセリチョウについて．アカハネムシ（22）：5-6。

《ひよし よしろう・ひよし ながこ 〒928-0001 輪島市河井町1部64-1》

アサギマダラを捜して新潟県柏崎市米山へ

松井 正人

アサギマダラのマーキングを目的に、2001年8月12日に柏崎市の米山を訪れた。米山へは国道8号線を北上し、JR米山駅を過ぎてしばらくして右折し、大平集落を過ぎて米山林道に入り、終点の標高750mまで車で入った。標高500m付近から立派なブナ林が顔を出し、いやがうえにも期待がふくらんだ。終点近くの林道はたいそう荒れていたが、車での出入りはあるようで、他の車も止まっていた。終点部から頂上までは、徒歩約20分。急な上りで、雨上がりの道は良く滑った。頂上までの道のりには、アサギマダラが飛来しそうな花として、ヒヨドリバナ、クサアジサイ、ゴマナ、シシウド、ホツツジ、リョウブ、トラノオ、カニコウモリ等が咲いていたが、アサギマダラは見られなかった。

頂上には、社、休憩所、トイレが、それぞれ別棟で建ち、休憩所で宿泊している人もいた。歩き始めは雲の中だったが、ここは晴れていた。狭いピークで、ぼんやり待つのも退屈なため、熊野権現まで往復したが、長靴を履いていたため、雨上がりの道は良く滑った。頂上から四方へ延びる登山道も、女人堂までは往復しようと計画していたのだが、あきらめて、頂上でのんびり観察することにした。

頂上には、キアゲハやツマグロヒョウモン、ミドリヒョウモンなどが占有行動をとり、時々黒いメスグロヒョウモンも飛んできた。金沢周辺では既に普通に観察されるツマグロヒョウモンではあるが、既に新潟の標高1000m近くの山で観察できるとは驚いた。そんな中、1頭のアサギマダラが雲の中から落ちるように飛来した。「よねやま001」とマークして放すが、なぜか飛び立たない。飛び立たない程に疲れている様子だったので、近くの木の上に乗せた。11時近くなると、辺りも晴れ上がり、眼下には海岸から日本海が大きく広がってきた。この先遠く、珠洲岬から飛び立ったアサギマダラが飛来してはいないかと期待して登った米山だったが、その後は全く飛来せず、観察できたアサギマダラはこの1頭だけに終わってしまった。

■ 2001年8月12日 新潟県柏崎市米山山頂 松井正人 目撃

キアゲハ	4頭	メスグロヒョウモン	3♀
ヤマトシジミ	2♂2♀	ミドリヒョウモン	1♂1♀
ダイミョウセセリ	1頭	ツマグロヒョウモン	2♂
ヒオドシチョウ	1頭	アサギマダラ	1♀

米山は、かつて女人禁制の山であったが、人気がある山の様で、頂上にいると家族連れなどが次々と登ってきた。

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

2001年の石川県輪島市におけるアサギマダラのマーキング調査

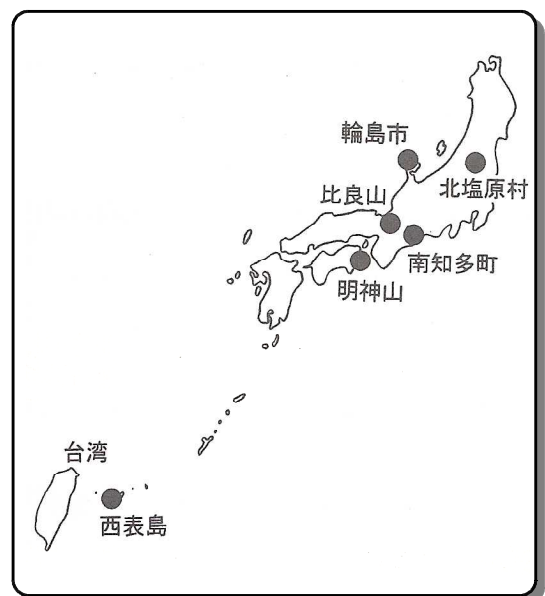
日吉芳朗・日吉南賀子

筆者らの輪島市における鉢伏山を中心としたアサギマダラのマーキング調査は2001年で3年目をむかえた。松井正人氏が能登半島で最初に行われたのが1986年の宝達山とのことであるから、まさに緒についたばかりの感をいなめない。

輪島市の山地でアサギマダラが目につきはじめるのは例年、5月中～下旬であるが、個体数はたいへん少ない。本年も例外ではなく、5月21日より7月15日までのマーク個体は、舳倉島の2頭を含め7頭にすぎなかった。

7月18日を皮切りに鉢伏山の北側斜面にはアサギマダラの集団が現れ、22～25日と8月2～3日にピークがみられた。しかし、昨年のような大集団ではなかったようにみえる。ところが、本年の大きな特徴の一つは、8月20日を境に突然その姿を消してしまい、以後、9～10月には、鉢伏山周辺で1頭すら目撃できなかったことである。というのは例年9月中旬には小規模な集団がみられるとともに、下旬にかけても少数ながら目につくからである。そうしたこともあって、本年の総マーク数は924頭で、昨年の1047頭（日吉宏朗マークを含む）より123頭少なかったが、県外で再捕獲された個体は以下のとおり5♂と、昨年の3♂を上回り広がりを見せた。

- ♂ 2001年7月25日 輪島市鉢伏山、日吉芳朗放蝶 → 2001年8月12日 滋賀県八雲ヶ原比良山スキー場、内田孝再捕獲、移動距離は18日で約254km
- ♂ 2001年7月22日 輪島市鉢伏山、日吉芳朗放蝶 → 2001年8月25日 福島県耶麻郡北塩原村、吉川素子再捕獲、移動距離は34日で約281km
- ♂ 2001年7月31日 輪島市鉢伏山、日吉芳朗放蝶 → 2001年10月6日 愛知県知多郡南知多町内海フォレストパーク、佐藤英治再捕獲、移動距離は67日で約295km
- ♂ 2001年8月1日 輪島市鉢伏山、日吉芳朗放蝶 → 2001年10月12日 徳島県海部郡由岐町明神山、撫中喜代美再捕獲、移動距離は72日で約448km
- ♂ 2001年7月24日 輪島市鉢伏山、日吉芳朗放蝶 → 2001年11月18日 沖縄県西表島仲間川林道、西田貴明再捕獲、移動距離は117日で約1914km



筆者ら（日吉宏朗を含む）が放蝶したもので、東北地方と四国で再捕獲されたものは今年がはじめてである。また西表島のものは、その移動距離と生存日数においてはこれまでの最長記録に近い（西田貴明、2002）。また、この西表島で再捕獲された個体を放蝶した7月24日には、マーキング中に多数のアサギマダラとともに吸蜜していた台湾アサギマダラ1♂を採集した（日吉芳朗、2001）。これは本州での初記録と思われる。

これらの結果は、色々な人たちにお世話になり、支えられた結果かと思われる。特に、各地で再捕獲していただいた皆さん、再捕獲地までの移動距離を計測していただいた藤井恒氏には、深く感謝の意を表したい。

2001年輪島市におけるアサギマダラマーキング頭数

月日	計	鉢伏山	高洲山	宝立山	その他	時刻	温度	天気
5月21日	1♂	1♂				8:40	23	曇
6月2日	2♂				2♂	11:00-11:02	26	晴
6月9日	1♂	1♂			舩倉島	10:32	21	曇
6月17日	1♂	1♂				15:35	24	晴
6月22日	1♀				1♀	14:45	21	曇
7月15日	1♀	1♀			石休場	16:52	28	晴
7月18日	11♂3♀	9♂3♀	2♂			7:40-8:42	23	曇
7月19日	2♂1♀	2♂1♀				12:54-13:20	28	曇
7月20日	36♂22♀	36♂22♀				7:43-10:22	23	曇
7月21日	26♂9♀	22♂9♀	4♂			7:08-9:52	22	晴
7月22日	53♂38♀	53♂38♀				6:44-10:48	26	晴
7月24日	77♂30♀	77♂30♀				6:38-11:52	26	晴
7月25日	60♂20♀	60♂20♀				6:40-11:46	23	晴
7月26日	12♂1♀	11♂1♀	1♂			6:52-7:52	20	曇
7月28日	18♂3♀	18♂3♀				6:23-7:42	24	晴
7月31日	43♂10♀	43♂10♀				7:05-9:45	27	晴
8月1日	41♂2♀	41♂2♀				7:05-9:41	26	晴
8月2日	82♂29♀	82♂29♀				6:25-11:56	24	晴
8月3日	64♂32♀	63♂31♀	1♂1♀			6:33-11:38	26	晴
8月4日	17♂1♀	17♂1♀				17:12-17:56	23	曇
8月6日	25♂1♀	25♂1♀				6:33-7:57	20	曇
8月7日	41♂14♀	41♂14♀				6:35-10:18	22	曇
8月8日	28♂4♀	28♂4♀				6:20-7:57	22	晴
8月12日	2♂	2♂				7:00-7:20	22	晴
8月14日	12♂	12♂				6:28-7:25	24	晴
8月15日	4♂2♀	4♂2♀				6:18-7:00	23	晴
8月16日	21♂2♀	21♂2♀				7:14-8:20	24	晴
8月16日	1♂			1♂		9:41	26	晴
8月18日	1♀	1♀				7:43	22	曇
8月20日	4♂	4♂				6:50-7:21	23	晴
9月9日	3♂1♀			3♂1♀		14:42-14:53	25	晴
9月16日	6♂1♀			6♂1♀		14:58-15:44	20	曇
9月19日	1♂			1♂		14:31	18	曇
合計	695♂ 229♀	674♂ 225♀	8♂ 1♀	11♂ 2♀	2♂ 1♀			

《参考文献》

日吉芳朗・日吉南賀子・日吉宏朗（2001）2000年の輪島市におけるアサギマダラマーキングと観察記録一．翔（148）：1-3．

西田貴明（2002）西表島で再捕獲したアサギマダラ．月刊むし（372）：34-35．

日吉芳朗（2001）石川県輪島市で台湾アサギマダラを採集．月刊むし（370）：2．

《ひよし よしろう・ひよし ながこ 〒928-0001輪島市河井町1部64-1》

能登で未記録と思われる4種のカミキリムシの報告

井村正行・江崎功二郎

1. タテジマカミキリ *Aulaconotus pachypezoides* Thomson

1998年5月31日 石川県鳳至郡門前町猿山岬 3頭 井村正行

ヤマウコギの生木についた枯れ枝のピーティングより得られた。筆者の1人である江崎は、後の調査で本種の幼虫がヤマウコギを食害している事を確認し、採集もしている。

これまで本種は、栽培されたカクレミノより少数例の採集記録があったが、今回自然分布の自生植物より採集されたことは、本種も土着種であった可能性を示唆するもので、注目に値すると思われる。

2. クビジロカミキリ *Xylariopsis mimica* Bates

1998年5月31日 石川県鳳至郡門前町猿山岬 1頭 井村正行

本種は、入場 登氏が倉ヶ岳で採集した1例のみの記録であった。今回、蔓性植物の枯れ枝のピーティングで得られたが、同地には本種の幼虫の宿主であるツルウメモドキが多く見られた。本種に関しては、金沢城址の環境調査でも得られていると聞いている。

3. クリイロチビケブカカミキリ *Terinaea atrofusca* Bates

1998年5月31日 石川県鳳至郡門前町猿山岬 多数 井村正行・江崎功二郎

本種は、シナノキの枯れ枝のピーティング、スウィーピング、及び枯れ枝からの新成虫の割り出し等で得られた。

4. クロニセリゴカミキリ *Eumecocera unicolor* Kano

1998年5月31日 石川県鳳至郡門前町猿山岬 多数 井村正行・江崎功二郎

本種は、シナノキの生葉や枯れ枝のスウィーピングで得られた。

《参考文献》

井村正行（1998）コウチュウ目カミキリムシ科，石川県の昆虫：197-217．石川県．

《いむら まさゆき 〒920-0211 金沢市湊1-128》

《えさき こうじろう 〒921-8044 金沢市米泉4-26-403》

石川県初記録と思われる甲虫2種の記録

井村正行・江崎功二郎

1. アカオビタマクモゾウムシ *Egiona konoi* Nakane

1998年5月31日 鳳至郡門前町猿山岬 4頭採集多数確認 井村正行・江崎功二郎
タモ類の枯れ枝等より多くを確認した。

2. クチキオオハナノミ *Pelecotomoides tokejii* Nomura et Nakane

1998年5月31日 鳳至郡門前町猿山岬 1頭採集 江崎功二郎
2000年7月20日 江沼郡山中町大土 5頭採集 井村正行・江崎功二郎
いずれも葉上に止まっていたものであった。

《参考文献》

高羽正治 (1998) コウチュウ目ゾウムシ科, 石川県の昆虫: 245. 石川県.

高羽正治 (1998) コウチュウ目オオハナノミ科, 石川県の昆虫: 194. 石川県.

《いむら まさゆき 〒920-0211 金沢市湊1-128》

《えさき こうじろう 〒921-8044 金沢市米泉4-26-403》

金沢市曲子原で得た石川県初記録と思われる甲虫

松井正人

石川県金沢市曲子原地内で、以下の石川県初記録と思われる甲虫を得たので、報告する。
種の同定で大変お世話になり、また、発表を勧めていただいた高羽正治氏に、深くお礼申し上げる。

1. オオクラフナガタハナノミ *Pentaria ohkurai* Nakane

2000年5月26日 金沢市曲子原 1頭採集 松井正人

2. マルガタキスイ *Curelius japonicus* Reitter

2000年6月30日 金沢市曲子原 1頭採集 松井正人

3. タナカツヤハネゴミムシ *Anisodactylus andrewesi* (Schauberger)

2000年6月30日 金沢市曲子原 1頭採集 松井正人

4. チビズマルヒメハナムシ *Phalacrus luteicornis* Champion

2000年9月1日 金沢市曲子原 1頭採集 松井正人

5. マルメサルバウムシ *Phytobius quadricornis roelofsi* Hustache

2000年9月29日 金沢市曲子原 1頭採集 松井正人

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

いぶんと早い。良い品物なので、年に一度は共同購入を考へても良いかもしれない。

マイマイ高じてついに粟島

井村会長、例会でマイマイ個体群の話をしていたと思つたら、早速粟島に渡つてアオマイマイをゲット。一人で行ったと言うから相当のめり込んでいる。

オオシモフリスズメ採れる

ギフチョウが舞う頃、燈火に飛来するが、近年はほとんど観察されず、石川県のレッド種に指定されている。今春は金沢と吉野谷で採れた。

イチモンジセセリは越冬可能か

人気のあるツマガゴロヒヨウモンは、分布の拡大から越冬まで、細かく調べられているが、地味なイチモンジセセリとなると、何にも分からない。越冬は観察されていないが、成虫は、ツマガゴロヒヨウモンと似たような五月中旬から観察されている。

奥能登のスジボツヤマキチョウ

最近、奥能登で観察されなくなつたとの情報から、会員が注目していたところ、ポツポツと目撃され、柳田や輪島では、卵や幼虫が観察された。

哀れなヒダギフポイント

採集禁止の看板が立っていた産地、ひつきりなしにパトロールされていた産地、いずれも今年は工事現場になつていた。

今森光彦氏、金沢に来たる

里山物語の映像と語り、古き良き時代の思いでがジワジワと湧いてきて、フワフワと言うか、ボワフワというか、余韻がしばらく残つてしまった。

手取川のクロツヤヒゲナガコバネ

蛾をやり蝶をやり、甲虫もかじる富沢氏、クロツヤヒゲナガコバネを求めて、手取川河原に通っているが、なかなか採れない。最近、グミの枯枝が気になってしょうがないらしいが、それでも採れない。

「内浦町チョウ目録」に着手

日吉宏朗氏、勤務地が今春から内浦町となり、内浦町の目録作成に取りかかった。二十世紀末の記録種は十七種だが、輪島市に匹敵する七十種以上を目指して燃えている。

黒いゴマシジミと青いゴマシジミ

石川県のゴマシジミは黒いゴマで有名だが、青いゴマも採れることがあるらしい。一説によれば、多雪の年は黒くなり、少雪の年は青くなるという。さて、今年は青いかな。

例会の記録

四月四日(木)城南管工一階にて八時から開催。

今年のギフは発生が早く、三月中旬に鳥越村まで発生前線は進んでしまった。これまでの情報をまとめると、何処の産地も発生量多く、かつ小型。前翅のY斑がリング状になるものが多いなど、ギフ一色に染まつた感じの例会となった。その他の話題では、ニジイ

ロクワガタは長生き、尾根でブルーネットを振るとギフが集まる、能登で採れるゲンゴ

はこれだ、昼休みは高速飛ばしてギフ採集、ビカビカを数頭採るか多少ボロでもガツポリ採るか、などなど。

参加は、生田、生田(耕)、松井、中西、富沢、勝海、井村、山岸、指田の九人。

例会の記録

五月二日(木)城南管工一階にて八時から開催。

前半の連休が終り、後半に備えての情報収集会となった。

三月に仙台でヒメギフ、四月に入つてエンジン全開ギフガツポリ、赤谷のギフは当たり前、ギフの眼状紋が多いのは高密度のせい、指田ギフツアーに賛同者現る、庄川のギフ産地は何処も工事でボロ

ボロ、松任で採れたギフの謎、尾添水系に舞うサイシン食いのギフ、などなど。

参加は、大脇、指田、中西、松井、富沢、生田(耕)、久慈、西、井村の九人。

会員の動き・しゃばの動き

知念村で最大級の目撃記録
 生田氏、三月二十一日から二十四日は沖繩旅行。晴れたのは二十二日のみで、天気は泣かされたが、知念村で仲良くネットを振る日吉夫妻を目撃。

行って来ました沖繩旅行
 日吉夫妻、三月二十三日から二十六日、レンタカーで沖繩本島を走り廻る。残念なことに低温強風で成果が上がらなかったが、石川県でも目撃できない生田氏を目撃し、びっくり仰天。

初ネットは今年もハワイで
 小松の矢田氏、飛び回るギフチョウを後目にハワイ旅行。ネットも竿もスーツケースに忍ばしたものの、いざ出陣と言う時にジョイント金具が無いのに気が付いた。ネット

トの先を器用に振って、何とか三種を採集。

今年春から天候に恵まれません
 ギフチョウは、三月十六日に初観察されたが、その後の休日は天候に恵まれず、発生状況がつかめない。二十四日は事も有るうに降雪が有り、じつと耐えているギフチョウが目に見えなくなる。次に暖かくなったら、大乱舞間違いないだろうが、おそらくはウィークデー。学生がうらやましい。

単身赴任でホテルに長期滞在
 兵庫の山本 治氏、年内いっぱいには金沢のホテルに滞在。この際、金沢の蝶でも採ろうかと、蝶談会に入会した。
 〒920-0961

金沢市香林坊二丁目一の「金沢エクセルホテル東急」

勝海雅夫氏、金沢に戻る
 数年に一度は転居し、各地を転々としている勝海氏、十年ぶりに金沢に戻ってきた。
 〒921-8051

金沢市黒田一丁目二十三の二
何で今頃蠅が出てくるの
 北海道産オオモンシロ、コマユバチやら蠅に寄生されて、蛹化したのは極わずか。年内に羽化したとも聞いたが、手持ちの蛹は羽化せず、全て年を越す。三月下旬から毎日眺めていたら、次から次と寄生蠅が出てきて蛹になった。

酒とビールと寿司とギフチョウ
 四月例会の一日前、多摩虫軍団ギフチョウ北陸方面隊と夜の懇親会。土砂降りの中、翌日の晴天を期待しながらギフチョウ談義に花が咲く。

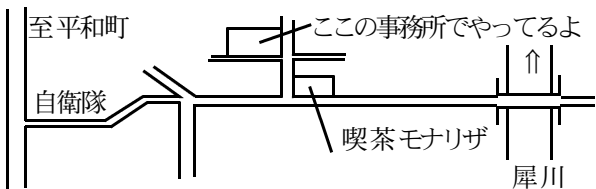
標本箱第二陣三十箱が到着
 一陣から遅れること一ヶ月、残り三十箱が到着した。一時期の事を考えると、到着がず

翔 156号

Tobu 2002年6月1日発行
 百万石蝶談会

<http://member.nifty.ne.jp/hakusan/>
 金沢市大場町東871-15 松井方
 ☎920-3121 ☎076-258-2727
 郵便振替 00750-8-562
 印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月・5月・7月の第1木曜日8時から
 TEL参加もOKです (076-244-3318)



目 次 (156号)

奥素八子：我が家の庭でツマグロヒョウモンの越冬幼虫を観察	… 1
三上秀彦：柳田村でスジボソヤマキチョウを目撃	…………… 1
久慈一英：石川県北部のギフチョウ発生地	…………… 2
牧原悟郎：松任市矢頃島にギフチョウ飛来	…………… 2
日吉芳朗・日吉南賀子：輪島市におけるミヤマチャバネセリと オオチャバネセリの最近の動向	…………… 3
松井正人：アサギマダラを捜して新潟県柏崎市米山へ	…………… 4
日吉芳朗・日吉南賀子：2001年の石川県輪島市における アサギマダラのマーキング調査	…………… 5
井村正行・江崎功二郎：能登で未記録と思われる 4種のカミキリムシの報告	…………… 7
井村正行・江崎功二郎：石川県初記録と思われる甲虫2種の記録	… 8
松井正人：金沢市曲子原で得た石川県初記録と思われる甲虫	…… 8
編集部：会員の動き・しゃばの動き	……………10